

TEL 233 340 000
FAX 224 313 684
Email Jschool@volny.cz

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び 共に学ぶ 豊かな心と国際性あふれる たくましい児童生徒の育成」

目指す子ども像

「かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子」

当 たり 前 の 話

校長 齊藤 仁

(2月2日全校集会での話)

今日は、「当たり前」の話をしてします。学校というのは、できて当たり前のことを9年間にわたって身につけるところです。その中には、当たり前のように勉強することもあります。小学校1年生からの9年間で勉強するのが当たり前と思って過ごすことで、いろんな力がついていきます。そして、たくさんの当たり前が当たり前でできるようになりながら、ものの考え方や感じ方、話し方、人との付き合いの仕方そして生き方を学ぶのが学校というところです。

さて、今日のあたり前は、挨拶、返事、よい姿勢、そして整理整頓です。

挨拶については、1学期にお話をしました。人と人が一緒に生活する世界で、挨拶のない世界はありません。すこやか委員さんが世界の言葉で挨拶運動をやっていますが、なるほどどの国にもその国の言葉で挨拶があります。どんな知りあいでも、一日の初めはまず挨拶です。また、知らない人でも挨拶から始まりますし、チェコ語のように外国で言葉が出来なくても、まずその国の言葉で挨拶。笑顔であいさつを交わしましょうとすこやか委員さんが言っていましたが、笑顔のあいさつの大切さは、外国に住んでいると切実にわかるものです。プラハ日本人学校の子どもは元気よく挨拶ができています。

次に、返事です。皆さん、自分が呼ばれたときに「はい」と大きな声で短く答えていますか。「いい返事」をするのは、実は大きな理由があります。学校という場所では、たくさんの人と一緒に生活しています。すると、この「たくさん」の中に自

分が隠れてしまいがちになってしまうのです。だから、自分が呼ばれた時には「はい！」と大きな返事をして、「私はここにいますよ」って自分をアピールすることが大切なんです。自分の考えや意見を話せるにはまず、「私はここにいます！」って主張できなくてはなりません。チェコの学校での交流の時に、自分から話しかけられなかったという感想をよく聞きますが、まずは毎日の「はい！」から自分をアピールしてはどうですか。

そして、「よい姿勢」です。姿勢というのは、体の見た目を表しますが、実は心のようにすが体の見た目にあらわれることがあります。やる気がなかったり、眠くなったり、悪いことをこそこそやっていると、背中が丸まって小さくなっていきます。悪い姿勢は、悪い心の様子を表しているのです。逆に姿勢をよくすれば、心もシャキッとします。先生は人の話を聞くときはよい姿勢で聞くように心がけています。それは心の姿勢を表すからです。

最後は、整理整頓です。姿勢は心のようにすがわかりましたが、整理整頓は頭のようにすがわかりません。物をきちんと整理整頓できる人は、頭の中でもきちんと考えることが出来る人です。また、自立している人は整理整頓ができますが、誰かに頼ってばかりの人は整理整頓ができません。教室に帰って自分の持ち物を見直してください。家に帰ったときには、自分の机を見てください。「だらしない」って言われないようにしてください。以上「挨拶、返事、よい姿勢、そして整理整頓」この4つのあたり前のお話でした。